

高麗神社

東京から秩父へ行くには、通常、池袋から西武線に乗って行く。飯能からは大きな谷筋に沿って電車は走り、正丸峠の下を一気にトンネルで抜ける。その大きな谷筋が高麗川である。私は今秩父に住んでいるが、用事で東京都往復することが多く、この電車にしょっちゅう乗るが、車窓から眺める高麗川の景色はとても良い。私のお気に入りの景色である。

高麗川は大雑把に言えば南北方向に流れているが、ひとつ尾根筋を隔てて西側に入間川（いるまがわ）が流れている。入間川は、鎌倉街道が通っていて、北は峠を越えると秩父であるし、南は峠を越えて青梅である。

高麗川は、高麗王・若光（じゃっこう）が最終的に落ち着いたというあの高麗の郷を流れる川である。高麗の郷は、もちろんこの狭い谷筋ではなくてもっと下流の開けたところにある。高麗川は、西武線の高麗駅あたり・巾着田（きんちゃくでん）で向きを変えて北上し、最終的には越辺川（おっぺがわ）に流入する。尾根筋をひとつ隔てて北側に都幾川（ときがわ）が流れる。

そのような地形を大雑把で良いから描いていただいて、想像を逞しく、若光（じゃっこう）ら渡来人が活躍した8世紀の姿を頭に描いて欲しい。渡来人は、高麗川筋を中心に開拓をすすめ、やがて、入間川（いるまがわ）、越辺川（おっぺがわ）、都幾川（ときがわ）と開拓をすすめていったことであろう。しかし、秩父との結びつきは、その後のことなのかそれとも前のことなのか、それは判らない。私の想像では、秩父と若光（じゃっこう）ら渡来人との結びつきは、それら川筋の開発が進む前、つまり、彼等が高麗の郷に落ちて間もなく始まったのではないかと思う。

秩父氏は、馬の飼育で勢力を拡大していくようであるので、騎馬民族との結びつきを抜きにして秩父氏の勢力拡大は考えられないし、そのことを抜きにして関東における武士の成長は考えられないのではないか。江戸氏は秩父氏の流れであるし、私は、そもそも武蔵という言葉の語源は高麗語ではないかと思っている。このように考えてくると、坂東武士の源流に若光（じゃっこう）ら渡来人がいる。

若光（じゃっこう）ら渡来人の氏神が高麗神社である。高麗神社は、関東平野の西端・高麗川の畔にある。近くに八高線の高麗川駅がある。

さあ、それでは高麗の郷に行ってみよう！

高麗の郷（さと）

百済滅亡に引き続き、六六八年には高句麗が滅びて、朝鮮半島は新羅によって統一された。その際、高麗王若光（こまおうじゃっこう）は一族を引き連れて日本に亡命、朝廷の指示で [大磯に上陸](#)、各地に散在して、この地方の人たちに、鍛冶、建築、工芸など各種の技術を伝えた。若光は高德の人で、文武（もんむ）天皇から従五位下の位と「王（こきし）」の性を賜った。若光の落ち着いた先が「高麗の郷」である。

「高麗の郷」というのは、現在は[埼玉県人間郡日高市](#)、旧は高麗（こま）郡高麗（こま）村のことである。そこに有名な高麗（こま）神社がある。祭神は、猿田彦大神（さるたひこおおかみ）と高麗王若光（こまおうじゃっこう）である。宮司は、高麗王若光の第六十代目子孫である [高麗さん](#) である。猿田彦大神は、今ではこんなことを気にする必要性は全くないが、もともとは新羅系渡来人の神であるという。開拓の神である。

それでは、「高麗の郷」へ参ろうか！

参ろう！参ろう！

西武池袋線の高麗駅をおりればすぐに高麗の將軍標が迎えてくれる。

西武線を隔ててそれとは逆の方に歩いていくとすぐに国道199号線に出る。それを少し右にいくと巾着田（きんちやくだ）に向かう道に出るのだが、

わざと遠回りをして縄文時代の住居跡を見ることをお勧めする。遺跡は、駅から歩いて10分か15分ぐらいのすぐのところにある。国道のすぐ脇にあるからすぐに判るだろう。4500年前の縄文時代中期の円形住居跡だ。柱を立てたのであろう穴跡が十数個ある。高麗神社に行くには、巾着田のところから、いわゆる「かわせみ街道」をゆくといい。

左手に日和田山が見えてとてもいいハイキング道だ。

途中に、石碑があり、地藏堂があり、とても感じのいい休憩所もある。

やがて、右手の山麓に

聖天院（しょうてんいん）の大きな建物が見えてくる。

聖天院は、高麗一族の寺である。

高麗王若光（じゃっこう）の菩提寺として建てられたものである。

出世に御利益があるということで、開運を願って訪れる人も多く、大きな駐車場がある。

駐車場には、例の將軍標がある。堂々たる構えの山門は総ケヤキ造りである。

高麗神社もう近い。やはり將軍標が駐車場にある。[女將軍のお出迎えだ！](#)

おお恐わ！

[鳥居をくぐり、](#)長い参道を歩いていくと本殿に着く。

本殿は、

流れるような曲線を描いている屋根を持ち、

[ともかく立派で、](#)

随所に朝鮮文化を偲ぶことができる。

[境内には、高麗家の住宅が建っている。](#)

国の重要文化財に指定されている立派なものだ。

現在のものは

昭和51年に解体・復元されたものである。

[茅葺きの屋根がいい！](#)

八高線の高麗川駅までは結構長い田舎道を歩いていく。

[高麗の郷が遠くに見える。](#)

もうすぐに高麗川駅だ。